



【特集】「伊賀」を、楽しもう！

「伊賀」で、もてなそう！… 2

第10回非核平和推進中学生広島派遣団レポート……	6
集団がん検診・若年者健診のお知らせ ……………	10
まちづくりアンケートの調査結果を報告します…	12
こころの健康教室 受講生募集……………	14
水痘・肺炎球菌ワクチンが定期接種へ……………	16
9月の二次救急実施病院……………	27

写真は、8月15日に、大山田せせらぎ運動公園で開催された「第37回大山田ふるさと夏まつり」の様子。今年も、趣向を凝らした創作花火が披露されたあと、打ち上げ花火が夜空を彩りました。

2014
旅
しよう。

芭蕉さんのこころ
ふるさとの想い



松尾芭蕉翁生誕370年 三重県伊賀市

「伊賀」を、楽しもう！ 「伊賀」で、もてなそう！

～新しい観光のかたち 着地型観光「いがぶら」～

いがぶら、
始まるよ～！

地元だけど
とっても新鮮♪



▲「いがぶら」には、気軽に着物に着替えて、街を散策できるプログラムがあります。洋服で訪れたふたりも、すっかり着物美人♪

皆さんは、伊賀の魅力をよく知っていますか？ 伊賀を十分楽しんでいただけますか？ また、市外の人に伊賀のよさを紹介できますか？

私たちの伊賀市は、松尾芭蕉や忍者、さまざまな特産物などのたくさんの方々の魅力を持っています。そこで、これまで以上に伊賀のよさを発信するため、新しい観光の形「着地型観光」の考え方を取り入れた今までとは違う観光スタイルを提案します。

【問い合わせ】

観光戦略課 ☎22・96700 FAX22・9695

新しい旅のスタイル「着地型」

これまででは旅行会社がツアーなどを企画し、観光客を観光地へ送客する「発地型観光」が一般的でした。「いがぶら」は、観光事業者だけでなく、商業者や地域の人々な



どこでも直接観光事業に関係がなかった人がおもてなしのプログラムを企画・提供し、お客様に体験していただく「着地型観光」です。それらを一冊のパンフレットにまとめて、市全体で「体験型プログラム」として発信していきます。

パンフレットを手に入れよう

「いがぶら」に参加するためには、公式ホームページかパンフレットをご覧ください。期間限定で味わえるメニューや体験イベント、耳寄りな情報など、「いがぶら」



「いがぶら」パンフレットは、いがぶら事務局（市観光戦略課、㈱まちづくり伊賀上野）、各支所振興課、観光案内所などにあります。なお、公式ホームページ（<http://igabura.com>）からもダウンロードできます。

のために企画されたプログラムが満載です。

6つのカテゴリーの中から、お気に入りのプログラムを選んでください。すべて事前の申し込みが必要です。

まず市民が楽しもう

108種類のプログラムは市民の皆さんも楽しめるものです。「伊賀にこんな所があったんだ」「伊賀にこんな人がいたんだ…」この土地に暮らす私たちにも新たな発見があるかもしれない。伊賀を知る絶好の機会です。ぜひ、ご参加ください。

魅力的な体験がいっぱい

「いがぶら」108種類のプログラムはこれ！

◆ 伊賀をぶらり街歩き

- 1 あつという間に、着物美人！
- 2 いが☆グリオが大好きな散歩道
- 3 てくてく銭湯伊賀上野〜まちあるき&銭湯ミニツアー〜
- 4 町家の散策と、まんまるオリジナルこけ玉作り体験
- 5 伊賀出身の映画監督「呉美保監督」と特別な一日を…
- 6 イケメン利酒師がエスコート！「城下町バル」プレツアー
- 7 伊賀上野灯りの城下町〜城下町バル〜

◆ 伊賀の歴史と文化を知る

- 8 元祖伊賀組紐のお店で作るあなただけのレアグッズ
- 9 明治の館「北泉邸」で、ほっこりと民話の世界へ！！
- 10 「泉窯」特製織部釉のワンポイントが美しい焼酎杯づくり
- 11 陽気なオヤジと小洒落た行灯づくり
- 12 養肝漬宮崎屋でお漬物食育体験ツアー
- 13 竹細工で、トンボやかえるを作ろう
- 14 伊賀流おとし玉袋
- 15 マイ・下駄づくり「鼻緒すげ体験
- 16 今年のX'masは和の手作りリースを飾ろう！！
- 17 シネマ自然処

18 表具師に聞く「繕蓄と技」
目からウロコ！下柘栲のミステリアスな歴史秘話探訪ぶらり旅

- 19 伊賀さんま〜自作の皿で血統書付き伊賀牛を味わう〜谷本洋陶房編
- 20 山峡の窯元で囲炉裏を囲んでの芋煮会
- 21 伊賀さんま〜自作の皿で血統書付き伊賀牛を味わう〜すきやき伊藤編
- 22 てくてく見つける「なつかしい未来」
- 23 建築家が案内する藤堂高虎の街並みと歴史的建築物
- 24 「町中の神楽山展」ぶらり見歩き
- 25 伊賀びと奏でるCafe 'de Jazz なひととき
- 26 八百年の法灯「大般若経転読 厳修」へのご参加と秋明菊や紅葉を見ながらお抹茶で法縁の一日を！
- 27 なでしこカメラマンに学ぶスポーツ写真塾！
- 28 JNFA公認のインストラクターが案内するノルディックウォーキングで伊賀の文化を知ろう
- 29 常住寺で学び味わう「でんがく精進料理」
- 30 創業115年の老舗書店本とパンでもてなし
- 31 若手イケメン伝統工芸士と伊賀焼革命を体験
- 32 ワイルドな若手陶芸家と「ほんまもん薪窯焼」
- 33 伊賀焼のこれぞほんまもん手びねり・六窯体験
- 34 歴me ni 歴Jyo! 「伊賀焼の里」ミステリーツアー
- 35 築2000年の古民家でレトロ口

◆ 伊賀の自然を満喫

36 築2000年の古民家でレトロ口

伊賀を、楽しむ！

プログラムに参加してみる

「いがぶら」の楽しみ方はふたつ。ひとつめは、観光客になってプログラムに参加することです。

前ページで着物を着て2人の女性が歩いている写真がありますが、これも今回企画した108種類のプログラムの一つです。

着物に対する憧れは誰しも

あるものの、「用意が大変」と思ってしまう洋服を選んではまってはいませんか。

10分で手軽に着物に変身して、城下町を歩くことで、普段歩き慣れた同じ道を歩いても新しい発見がきつとあるかも知れません。

身も心もタイムスリップ！そんな休日の過ごし方はいかがでしょうか？

魅力あるプログラムが満載です

このほかにも、伊賀の誇る伝統的工芸品である伊賀焼や伊賀組紐のプログラムを用意



▲伊賀焼の飾り玉をつけた飾りひも。伝承の技と心を体験してみては？

▼いい香りのする糀には生きた酵素がたっぷり



▶「いがぶら」には無添加発酵食品を手作りできるプログラムも。参加して体験することで、伊賀の魅力を感じてみませんか？

しています。

世界で1つのオリジナル作品をこの機会にぜひつくってみませんか？

よく知っているようで、まだまだ知らない魅力がたくさん詰まった伊賀。

108種類あるプログラムの中から、あなたはどれを選びますか？



- 37 な癒しの空間を満喫
自然派女子あつまれ！
森の石窯ランチ
- 38 プロトレイルランナー松永絢明
と走るトレランツアーIN伊賀
せつかつくなら最新のハイブリッ
ドカーで行っちゃおう？
- 40 「いがぶら」観光！
イモ掘って・焼いて・食う！！
自分で収穫した野菜は格別の
味、収穫体験
- 41 伊賀の東北西柘植「ミニ奥の
細道」散策霊山ハイキング
ひじきの里山「エンゼルの森」
で楽しくクッキング
- 42 子育て親子・秋の農園に大集合！！
島ヶ原の秋の紅葉里山ウォー
クで自然を満喫しよう
- 43 幻の藁灰こんにやくに出会え
ます
- 44 伊賀忍者発祥地伝説にまつわ
る幽玄な遺跡を散策
伊賀の大空でラジコン飛行機
を飛ばしてみよう！！
- 45 余野の森で森林浴ウォーキン
グとカフェタイム
- 46 黒米のおはぎと田舎料理作り
- ◆ **伊賀を味わう**
- 51 幻のブランド牛 伊賀牛の美
味極み
- 52 シヤコンヌマスターが美味しい
コーヒーの入れ方教えます！！
「あわてんぼう」元氣おぼ
ちゃんの大満足ハイキング
- 53 オーガニックなテーブルリ
ス作りとローフードランチ
- 54 創業410年の老舗 桔梗屋織
居「藤堂藩献上再現和菓子」
秋の茶会
- 55 「ア ril・ストーク」でテーブ
ルマナーとフルコース料理
初めての有機農業入門
菜の花プロジェクト体験ツアー
- 56 癒しの空間を満喫
自然派女子あつまれ！
森の石窯ランチ
- 57 プロトレイルランナー松永絢明
と走るトレランツアーIN伊賀
せつかつくなら最新のハイブリッ
ドカーで行っちゃおう？
- 58 「いがぶら」観光！
イモ掘って・焼いて・食う！！
自分で収穫した野菜は格別の
味、収穫体験
- 59 伊賀の東北西柘植「ミニ奥の
細道」散策霊山ハイキング
ひじきの里山「エンゼルの森」
で楽しくクッキング
- 60 子育て親子・秋の農園に大集合！！
島ヶ原の秋の紅葉里山ウォー
クで自然を満喫しよう
- 61 伊賀の酒 三重錦を飲み尽くす！
あれもこれも伊賀焼の里秋の
よくほり体験！
- 62 そば粉の風味を生かす そば打
ち体験
おせっかいおばさんの青山カッ
プリンツアー
- 63 和菓子職人に習う麻餅
四季の里まつもとで楽しむグ
ラウンドゴルフ「いがぶら杯」
3代目料理人の技と話術で「美
味しい・楽しい」をお持ち帰り
伊賀の旬のモン、おかみさんの
会の手づくり料理たべてだこ！
- 64 伊賀の有機野菜を使ったお料
理教室
- 65 古代米稲刈り体験と古墳物語
『秘伝・田舎風おせち料理』
- 66 地産地消！伊賀で味噌ラーメン？
地酒「半蔵」と「半蔵の伊賀産
酒米」をじっくり味わう「感
語らい」
- 67 「肉の伊藤銀座店」プレゼン
ツ見て、食べて、学ば伊賀牛
講座
- 68 職人と一緒に季節の上生菓子
を作ろう！
- 69 究極の美味「昌苑 焼きしゃぶ」
1杯の珈琲に拘る頑固マスター
が提供する大人の時間
自分で作ったカップで、伊賀
- 70 伊賀の名店「九庵」の特製う
どんと家庭料理をお楽しみく
ださい
- 71 いがぶら特別「ハハトコ食堂」
で楽しい交流ビュッフェ
- 72 あこの「むらい萬香園」の名物
オヤジがお茶の楽しさ、手解
さいたします
- 73 面白うどん屋がプロデュース
する忍者体験！！
- 74 「伊勢屋」で贅沢に愉しむ地酒
と創作会席料理
- 75 熱帯・スパイス・インドネシア
体験！
- 76 伊賀の酒 三重錦を飲み尽くす！
あれもこれも伊賀焼の里秋の
よくほり体験！
- 77 そば粉の風味を生かす そば打
ち体験
おせっかいおばさんの青山カッ
プリンツアー
- 78 和菓子職人に習う麻餅
四季の里まつもとで楽しむグ
ラウンドゴルフ「いがぶら杯」
3代目料理人の技と話術で「美
味しい・楽しい」をお持ち帰り
伊賀の旬のモン、おかみさんの
会の手づくり料理たべてだこ！
- 79 伊賀の有機野菜を使ったお料
理教室
- 80 古代米稲刈り体験と古墳物語
『秘伝・田舎風おせち料理』
- 81 地産地消！伊賀で味噌ラーメン？
地酒「半蔵」と「半蔵の伊賀産
酒米」をじっくり味わう「感
語らい」
- 82 「肉の伊藤銀座店」プレゼン
ツ見て、食べて、学ば伊賀牛
講座
- 83 職人と一緒に季節の上生菓子
を作ろう！
- 84 究極の美味「昌苑 焼きしゃぶ」
1杯の珈琲に拘る頑固マスター
が提供する大人の時間
自分で作ったカップで、伊賀

伊賀で、もてなす！

観光客をもてなすのは
私たち、市民

「いがぶら」のパンフレットに108種類ものプログラムが並んでいるのは、老舗店舗から、一般の市民まで、さまざまな人が参加しているから。「いがぶら」の楽しみ方のふたつめは、プログラムを提供し

◀旅行の楽しみと言えば
食べること！そんな食
に関するメニューも豊
富です。
その地域ならではの楽
しみにふれられるのも
着地型観光の魅力。



て、伊賀に遊びに来てくれる人をもてなすことです。
伊賀で暮らす人にとつてあたりまえだと思っていることも、市外から訪れた人には新鮮に映ることもあるでしょう。パンフレットを眺めると、プログラムの中に、伊賀の人たちのいつもの暮らし方が、垣間見えます。

▼伊賀の豊富な自然を体験するプログラムも充実しています。
囲炉裏のある古民家でゆったりとしたひとときを過ごしてみませんか。



▲こんな素敵な景色にも出会えますよ



- 101 メナード青山リゾートオー
- 100 整体王子がお手伝い
く頭蓋骨ホームケア講座
- 99 オリジナルこねこね石鹸&
ルームスプレーづくり
- 98 伊賀FCくノ一の選手が健康つ
くりのお手伝い
- 97 走ることを通じてまちを再発
見し、人と人がつながるランニ
ングイベント
- 96 「伊賀忍びイラスト」で、しな
やかな身体づくり
- 95 新大仏寺で行なうダンスレッ
スン!!
- 94 ローフードマイスターと満月
のエナジーを共に感じながら
- 93 「のつらら」農業体験×ヨガ体
験×温泉
- 92 忍者整体師が体の正しい使い
方教えます
- 91 整体王子がお手伝い
く骨盤ホームケア講座
- 90 座禅と食事とボディケアWS
ピリチュアル体験!
- 89 天然温泉「芭蕉の湯」でほっこ
り！お好きな「癒し」でスッ
キリ!!
- 88 若きイケメン歯科医院長がお
話します！輝く女性の秘訣!
- 87 アロマハンドトリートメントの
手技をプロが伝授!! (古い付)
- 86 伊賀で唯一の靴専門店「塩
糍・甘酒・味噌」を手づくり
しよう!
- 85 一口でいろんな国体験！これ
はお得!
- 84 伊賀焼窯元・長谷園の「土鍋
お料理教室」
- 83 伊賀野菜&豚しゃぶコースと伊
賀焼の茶碗でお茶を楽しもう
- 82 焼きの里のスローライフを堪能
しませんか

◆伊賀で美容と健康

◆やっぱり伊賀は 忍者でしょ

- 105104103 忍者ミステリーツアー！忍者居
伊賀の國で食す秋の忍者会席
伊賀流忍者集団「黒党」の頭
領による伊賀流忍者教室【初
級者編 (子供向き)】
- 106 最後の忍術伝承者「川上仁一」
×忍者研究の最先端「山田雄
司」と巡る忍者のまち・伊賀
伊賀流忍者ナイトミュージアム
くノ一が指南！伊賀流手裏
剣打選手権大会への道
- 102 だーコースム
いがぶら限定！美と食を心ゆ
くまで満喫していただける1
泊2日のプチ旅

【申込方法】

いがぶら公式ホームページの予約フォームか、カタログ記載の申込先へ電話でお申し込みください。

【申込開始日時】

いがぶら公式ホームページから申し込み場合
9月6日(日)午前9時

◆プログラムに掲載された申 込先に電話で申し込み場合

9月8日(月)午前10時

※各プログラムの内容についてのはプログラムに掲載された問い合わせ先にお尋ねください。

※電話が混み合うことが予想されます。予めご了承ください。

《行程表》

1日目



被爆体験講話
(メルパルク広島)



原爆ドーム見学



千羽鶴を捧げる
(原爆の子の像前)

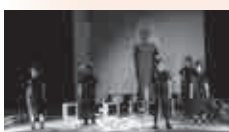


広島平和記念資料館
見学

2日目



平和記念式典
(平和記念公園)



平和演劇鑑賞
(広島国際会議場)

第10回 伊賀市非核平和推進 中学生広島派遣団 レポート



題字：派遣団 吉田さん

▶「到着するまでの間、8月6日という日に広島にいたりことや式典に参加できることにすごく緊張していました。でも、派遣団の一員としていろいろなことが経験できる2日間が楽しみでした。」(派遣団 松生さん談)



市内の各中学校の代表として、生徒10人を8月5日から2日間広島市へ派遣しました。

参加した生徒は、それぞれの学校の生徒一人ひとりが平和への祈りを込めて折った千羽鶴を原爆の子の像へ捧げました。また、平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学、被爆体験講話などを通じて、69年前に起きた人類史上最初の原子爆弾による悲惨な現実を、見て、聴いて、肌で感じて、非核平和への思いを新たにしました。その内容を生徒のレポートからお伝えします。



被爆体験講話



▶▶被爆体験講話に聞き入る生徒たち

13歳のとき、爆心地から約2km離れた軍関連施設で作業中に被爆した森田節子さんからお話を伺いました。

◆崇広中学校 山田 怜奈

森田さんから話を聞かせていただきました。原爆が一瞬にして色々な物を奪ってしまうおそろしさをあらためて知りました。

「友達を大切にするのは生きていくために必要なこと」という言葉がとても印象に残りました。

◆霊峰中学校 西條 夢人

被爆体験講話を森田さんから聞かせていただきました。

川にゴミのように遺体が流れているという話が印象に残っています。多くの命を奪った原爆を許せないし、二度と同じ悲劇を起こしてはいけないと誓いました。



◀平和記念公園内には、平和を願って折られた折り鶴が数多く捧げられています。生徒たちも、伊賀市内の中学生たちが折った千羽鶴を平和への願いを込めて捧げました。

▶平和記念公園
ここで原爆や平和をテーマとしたさまざまな催しが行われました。



◆緑ヶ丘中学校 高野 里紗
原爆の子の像へ行ってまず目に入ってきたのは、平和という言葉です。千羽鶴が色とりどりにたくさん捧げられている中にある平和という文字は、そこに立った人にだから響く何かがありました。鐘を鳴らし平和を祈りました。

市内の中学生一人ひとりが折った千羽鶴を捧げました。

原爆の子の像

▶原爆の子の像
原爆で亡くなった多くの子どもたちの霊を慰め、世界に平和を呼びかけるために建てられた像



このまちでたくさんの方が亡くなっていったんやなあ。
広島は復興したけど生活の中にある原爆ドームは原爆の被害を受けた都市の象徴なんや。
(派遣団 西條さん談)

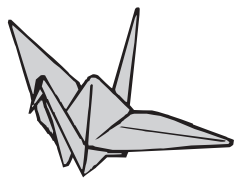


◆島ヶ原中学校 峰 竜矢
原爆ドームは悲しみを思い出すものだが、後世に残すことで、原爆の恐ろしさを訴え続けられる大切な建造物だと思います。僕も原爆がもたらした悲劇を身近な仲間や家族に伝えることで、平和の大切さを訴えたいです。

原爆の惨禍を伝え、核廃絶と人類の平和を求める誓いのシンボルである原爆ドームの見学を行いました。

原爆ドーム





平和記念資料館

原爆の惨状を示す写真や資料の見学を行いました。



◆城東中学校 吉田 茉莉

資料館には沢山の衝撃的なものがありました。どれも本当にあったことなんだと思うと、怖くてたまらなくなりました。見学しながらその当時の人々のことを考えたら、二度と戦争をおこしてはいけないという思いがよりいっそう強まりました。

◆阿山中学校 堀川 出帆

原爆を広島に落とされた人が後に、「日本は戦争を終えられ幸せだ。」と言っていた。それが間違いだということ、資料館に行つて改めて思いました。今感じた、原爆の恐ろしさを、被爆者と同じ気持ちで伝えていきます。



▲雨天での開催は43年ぶりとなった平和記念式典



▶1日目が終わり、ホテルへ戻った生徒たちは、この日感じたことを話し合いました。

「その日の夜、見聞きしたことを思い出すと怖くて眠れなかった。それくらい戦争は怖いものなんやなと思いました。」(派遣団 山田さん談/写真中央)

平和記念式典

広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参加しました。

◆上野南中学校 松生 侑莉

雨がいっぱい降っていたのに、式典には世界中の人々が参加していました。そして、世界中で平和を願っていました。

これからも平和な世界を作っていくために私たちは、一人の人間としてもっと原爆について勉強するべきだと思います。

◆大山田中学校 川極 幸村

多くの人々が参加した式典で、原爆が起こした悲しい事実を絶対に忘れてはいけないと思いました。亡くなった人々のためにも、僕は、平和を求め、被爆者が求めた未来を、しっかりと作っていくべきだと思います。





▲降りしきる雨の中、静かに手を合わせて祈る生徒たち



▶「原爆で亡くなった人への追悼の想い、そして今日学んだ原爆の恐ろしさを後世へ伝えていくという決意を込めて祈りました。」(派遣団 中尾さん談)



日本でこんなに恐ろしいことが
本当におこってたんや…。
外国の人でも千羽鶴を捧げていた。
いろんな国の人
平和を願ってるんやなあ。

(派遣団 高野さん談)



平和演劇鑑賞

広島市立舟入高校ふないりによる創作劇「さんげ」〜原爆詩人正田篠枝しょうたしのえの手記「耳鳴り」より〜を鑑賞しました。

◆柘植中学校 西尾 晃太

演劇の中で「少年の遺影の前のトマト」という話があった。

8月6日の朝、トマトを食べるのを楽しみにして学校へ行くけれど、原爆でトマトを食べられなくなった。少年と母親の後悔がとも伝わってきた。原爆は多くの人の人生を狂わせた。

◆青山中学校 中尾 光佑

劇は、原爆の惨状を歌に詠み多くの人に伝えようとした正田篠枝さんという人についての話だった。

この劇を通して、命をかけてまで原爆の恐ろしさを伝えようとした正田さんの意思を受け継ぎたいと感じた。

【問い合わせ】

人権政策・男女共同参画課

☎47・12886 FAX47・12888



集団がん検診・若年者健診のお知らせ

【問い合わせ】健康推進課 ☎22-9653 FAX22-9666

「集団がん検診・若年者健診」（後期実施分）の日程をお知らせします。

対象者は、市内に住所があり、左ページの「対象者」に該当する人です。申し込み時に生年月日・住所・電話番号・希望検診日・希望検診名をお聞きしますので、準備してからお電話ください。

※同一年度内に同じ項目の検診は受けられません。また、現在すでに気になる症状がある場合は、医療機関を受診してください。

※申込受付開始日の午前中は電話がつながりにくい状況が予想されます。ご了承ください。

※申込受付開始から先着順となります。

予約専用電話 ☎ 62-6100 (9月10日(水)～12日(金)午前8時30分～午後5時15分)


この期間は予約専用電話のみ受け付けします。市役所や保健センターでは予約できません。

9月16日(火)以降は、市役所や保健センターで予約してください。

◆申込受付開始：9月10日(水) 午前8時30分～

検診日時 (受付時間)	検診場所	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん	若年者健診
		1台50人	定員なし	定員なし	100人	55人	80人
10月4日(土) 9:00～11:30	大山田保健センター	●	●	●	●	●	
11月2日(日) 9:00～11:30	青山公民館	●	●	●	●	●	●
11月8日(土) 9:00～11:30 13:30～15:00	阿山保健福祉センター	●	●	●	●	●	●
			●			●	
11月15日(土) 9:00～11:30	いがまち保健福祉センター	●	●	●	●	●	●

◆申込受付開始：9月11日(木) 午前8時30分～

検診日時 (受付時間)	検診場所	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん	若年者健診
		1台50人	定員なし	定員なし	100人	55人	80人
10月7日(火) 9:00～11:30 13:30～15:00	ゆめぼりすセンター 	●(2台)	●	●	●	●	●
			●			●	
10月14日(火) 9:00～11:30 13:30～15:00		●	●		●	●	
			●			●	
11月9日(日) 9:00～11:30 13:30～15:00		●(2台)	●		●	●	
			●			●	
11月18日(火) 9:00～11:30 13:30～15:00		●	●		●	●	
			●			●	
11月27日(木) 9:00～11:30 13:30～15:00		●	●		●	●	
			●			●	
12月14日(日) 9:00～11:30 13:30～15:00		●	●	●	●	●	
			●			●	
3月14日(土) 9:00～11:30			●	●	●	●	

◆現在受付中 ※8月21日現在

検診日 (受付時間)	検診場所	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん	若年者健診
		1台50人	定員なし	定員なし	100人	50人	80人
9月13日(土) 9:00～11:30 13:30～15:00	島ヶ原支所	●(2台)	●	●	●	満員	
			●			●	
9月14日(日) 9:00～11:30 13:30～15:00	ゆめぼりすセンター	●(2台)	●	●	●	満員	●
			●			満員	
●		●		●	満員		
		●			満員		



◆ 対象者、自己負担金、内容・注意事項

検診名	対象者	自己負担金		内容・注意事項
		75歳以下	75歳以上	
胃がん検診	20歳以上 (平成7年4月1日以前生まれ)	1,100円	400円	バリウムを飲んで胃部レントゲン撮影をします。前日の午後10時以降は飲食しないでください。また、胃の手術を受けた人や妊娠している人は受診できません。
大腸がん検診		400円	100円	事前に容器をお渡ししますので、2日分の採便をしてお持ちください。生理中の人は受診できません。
前立腺がん検診	50歳以上の男性 (昭和40年4月1日以前生まれ)	600円	200円	血液検査です。 
子宮頸がん検診	20歳以上の女性 (平成7年4月1日以前生まれ)	1,400円	400円	子宮頸部細胞の採取と視診です。生理中の人は受診できません。また、子宮の手術を受けた人は、かかりつけ医にご相談ください。
乳がん検診	30歳以上の女性 (昭和60年4月1日以前生まれ)	1,600円	400円	専門医による視触診と乳房レントゲン撮影（マンモグラフィ）です。乳房をプラスチックの板で挟んで撮影する方法です。（多少の痛みを伴います。） <u>妊娠中・授乳中・授乳後1年未満の人は受診できません。</u>
若年者健診	昭和50年4月1日～平成7年4月1日生まれの人	2,800円		身体測定・尿検査・血圧測定・血液検査・心電図・診察などを行います。食事により血液データが変わることがありますので、できるだけ空腹でお越しください。

《がん検診の自己負担金》

- ① 74歳以下の方は自己負担金を実費の3割程度
- ② 75歳以上の方と65歳以上で一定の障がいがあり後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方は実費の1割程度
- ③ 生活保護世帯の方は無料
- ※生活保護受給者または65～74歳で後期高齢者医療被保険者に該当する方は予約時にお伝えいただくか、検診日に受付で証明になるものを提示してください。
- ※無料クーポン券対象の方は、無料クーポン券と身分を証明できるものを提示してください。（運転免許証、健康保険証など）



▲集団がん検診の当日は、各検診ごとのバスが並びます。

《現在受付中の検診と9月16日(火)以降の検診の申込先・問い合わせ》

健康推進課 ☎ 22-9653 いがまち保健福祉センター ☎ 45-1016 島ヶ原支所住民福祉課 ☎ 59-2163
阿山支所住民福祉課 ☎ 43-0332 大山田支所住民福祉課 ☎ 47-1151 青山保健センター ☎ 52-2280

がん検診無料クーポン券忘れていませんか？

～子宮頸がん・乳がん・大腸がん～

がんにかかりやすい年齢層のうち、今年度の対象者には、無料クーポン券を配布しています。詳しくはクーポン券に同封の案内文をご覧ください。無料クーポン券を紛失した人には再発行できます。また、10ページの日程でも受診できますので、お問い合わせください。



市民の皆さんの声、 聞かせていただきました

【問い合わせ】
総合政策課
☎ 22-9620
FAX 22-9672

【伊賀市 まちづくりアンケートとは】

平成19年度に始めたアンケート調査で、総合計画に掲げる伊賀市の将来像の実現に向けて、まちづくりに対する市民の皆さんの意識を知るためのものです。

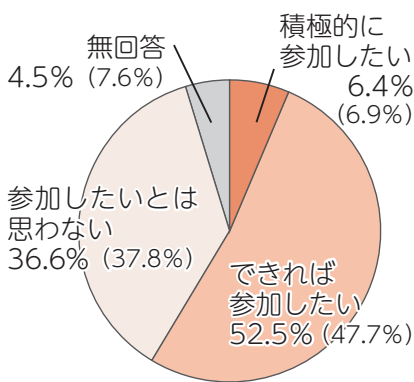
平成26年3月には第2次伊賀市総合計画を策定したことから、新たな枠組みでの各政策に対する市民の皆さんの「現状での満足度」、また「今後の重要性」を知ること、現在行っている事業の分析や今後の方向性について検討することが今回の調査目的です。

【調査結果の抜粋】

●定住意識

今の所に「将来も住み続けたい」「できれば住み続けたい」と思う人の割合が、約75%を占めています。その理由として、土地への愛着や隣近所との付き合いをあげている割合が高く、一方で、「移りたい」「できれば移りたい」理由として、通勤・通学・買い物・医療など、生活上の不便さをあげている割合が高くなっています。

●まちづくりへの市民参加



問：市政への参加について

()内は、平成25年市民意識調査の数字

半数を超える人が、市政に参加したいとの意欲を持っています。一方で、参加したいとは思わない人も40%弱にのぼっています。また市民と行政との協働のまちづくりのための有効な手法としては、情報の公表や意見交換の場の設定などが重要視されています。

●各政策の満足度・必要度の分布状況

市の政策に対する満足度・必要度についての質問では、すべての政策において、市民の半数以上の皆さんが満足いただけていないという結果でした。

【調査対象】

住民基本台帳に登録されている、市内在住の18歳以上80歳未満の市民2,222人を無作為に抽出し、調査票を送付しました。

※日本籍2,159人
ブラジル籍47人
中国籍16人

【調査期間】

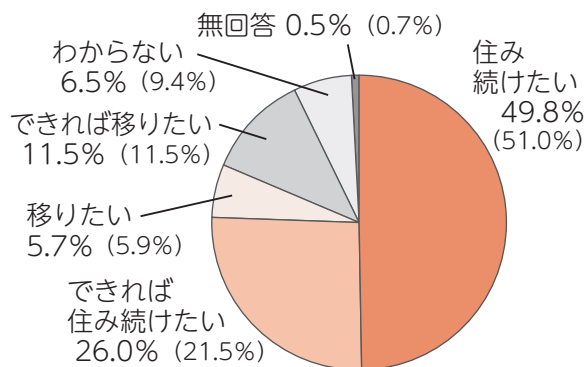
4月1日～5月15日

【回収率】

40.2%
※2,222人の中、894人が回答。

【調査内容】

- ①市民の皆さんの定住意識、まちづくりへの市民参加意識についての質問
- ②第2次伊賀市総合計画再生計画で重点プロジェクトとして掲げている、「医療・地域福祉」、「観光・農林業」についての質問
- ③第2次伊賀市総合計画再生計画に掲げる28項目の政策の満足度について、市民の皆さんの実感に基づく質問
- ④第2次伊賀市総合計画再生計画に掲げる28項目の政策の必要度についての質問
- ⑤暮らしの現状や考えに関する質問



問：今のところに将来も住み続けたいか

()内は、平成25年市民意識調査の数字

【おわりに】

今回実施したアンケート調査により、市民の皆さんからいただいた貴重なご意見を参考に、今後のまちづくりを進めます。

なお、詳しい調査結果については、総合政策課または市ホームページをご覧ください。

◆ 近隣のパートナーと手を携えて

いが・こうか・かめやま いこか連携プロジェクト

【問い合わせ】 総合政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672

伊賀市だけでは解決できない課題があります

皆さんの暮らしは県境や市域を越えて広がっており、伊賀市だけでは解決できない課題が増えています。また、人口の減少や高齢化への対応などの共通する課題を、効率よく進めていくため、広い地域での連携が必要になっています。

甲賀市・亀山市とともに

隣接する滋賀県甲賀市や、亀山市とは長年培ってきた交流があります。

そこで、共通する課題に連携して取り組むとともに、3市の人口が合わせて約240,000人であるというインパクトや、中部圏と近畿圏を結ぶ立地であること、3市が持つ両圏域とのネットワークを生かした広域連携を進めるため、平成25年度に3市長による「いこか共同宣言」を発表しました。

■ 3市の概要

市	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
三重県伊賀市	558.17	96,140	39,350
滋賀県甲賀市	481.69	93,054	33,678
三重県亀山市	190.91	49,935	20,486
3市合計	1,230.77	239,129	93,514

(人口・世帯数：各市住民基本台帳平成26年6月末現在)

動き出した「いこか」連携プロジェクト

具体的には、3市共通で取り組めるテーマや政策課題を議論し、協働・連携事業を進めるため、昨年度「伊賀市・甲賀市・亀山市広域連携推進会議」を設置しました。今年7月に開催した第3回推進会議では、8つの部会で、今年度の事業計画や取り組み方向の確認を行いました。また会議では、各種事業などの取り組みを進めるとともに、年度末にはその成果報告をする予定になっています。

本紙「い・こ・か」コラムも取り組みの一部

平成23年2月から広報いが市に掲載している「情報交流ひろば」となりまちいが・こうか・かめやまは、連携推進会議広報部会の事業として取り組んでいます。

【設置している部会】

- 総合危機管理部会
- 観光物産部会
- 道路ネットワーク部会
- 文化・スポーツ部会
- 広報部会
- 公共交通部会
- 学校教育部会
- 鳥獣害対策部会

■ 3市の市章



伊賀市



甲賀市



亀山市

◆ 一人でも多くの命を救うため

救急車の適正な利用にご協力ください

【問い合わせ】

消防本部消防救急課
☎ 24-9116 FAX 24-9111

■ 救急搬送は、1日平均13件

昨年の市内の救急件数は4,777件で、前年と比べて67件減少しましたが、市内で1日平均13件救急隊が出動したことになります。

救急搬送の半数以上は入院の必要のない軽症者で、なかには「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」と救急要請する人がいます。

また、「平日休めない」「日中は用事がある」などの理由で、夜間や休日に救急外来を受診する人もいます。



■ 相談ダイヤル24をご利用ください

診察を受けられる病院がわからない場合は、三重県救急医療情報センター（☎ 24-1199）へ、判断に迷った場合は伊賀市救急相談ダイヤル24（☎ 0120-4199-22）で確認してください。

■ 救急車を適正に利用しましょう

救急車や救急医療は限りある資源です。一人でも多くの命を救うため、また、救急医療を安心して利用することができる市にするため、救急車・救急医療の適正利用にご協力をお願いします。

◆ こころの健康、大切にしていますか

こころの健康教室 受講生募集

【問い合わせ】健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

うつ病や自殺者の増加が社会問題となっています。あなた自身やあなたの周りに、こころが疲れている人はいませんか？大切な命や笑顔を守るために、こころの健康について学び、一緒に考えてみませんか。

とき	内容	講師
第1回 9月26日(金) 午後1時30分～3時30分	「自分でできる！ストレス解消セラピー」 ～日頃のストレスケアへの入り口～	上野病院 臨床心理士 宇田 知功さん
第2回 10月8日(水) 午後1時30分～3時30分	「うつ病の理解&身近な人への接し方」 ～事例を通して～	伊賀市社会福祉協議会 精神保健福祉士 寺田 浩和さん
第3回 10月17日(金) 午後1時30分～3時30分	「アサーション*を身につけよう！」 ～自分も相手も大切にするための、ストレスを ためない会話のコツとは！？～	上野病院 臨床心理士 岡田 敦さん
第4回 10月29日(水) 午後1時30分～3時30分	こころのサインを見逃さないために ～わたしたちにできること～ 三重県の自殺の現状とメンタルパートナー養成講座	健康推進課 保健師

*アサーション・・・相手も自分も大切にする会話の手法

【ところ】 (第1回) ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室
(第2・3・4回) ハイトピア伊賀 4階多目的室

【定員】 50人 ※先着順

【申込方法】 電話・ファックス・Eメール

【申込先・問い合わせ】

健康推進課 ☒ kenkousuishin@city.iga.lg.jp

◆ 10月1日から、廃止代替バス路線の運賃を改定します

バス運賃の一部が変わります

【問い合わせ】総合政策課
☎ 22-9663 FAX 22-9672

【運賃改定をする路線】

柘植線・月瀬線・西山線・予野線・諏訪線・島ヶ原線・友生線、青山行政バス(滝線・霧生線・高尾線)の一部

【運賃改定の理由】

車社会が進んでいることや、少子高齢化に伴う利用者の減少、原油高騰に伴う燃料費の値上がり、さらに県からの補助金の廃止などによって、バスを運行するための市の経費負担は、年々増えています。

地域に根ざしたバス路線と輸送サービスを維持するため、運行事業者である三重交通(株)の運賃改定に準じた内容で、廃止代替バスの運賃を改定します。ご理解とご協力をお願いします。

※廃止代替バス…バス事業者が廃止したバス路線について、市がバス事業者に運行業務を委託しているバス。

【運賃改定の内容】

◀普通運賃▶

現行普通運賃額	改定額
170円～490円 区間	10円加算
500円～990円 区間	20円加算

※月瀬線、西山線の一部運賃を据え置きます。

※青山行政バスは、桐ヶ丘線と競合または類似する区間のみを改定します。(上限500円は変更しません。)

◀回数券▶ 改定後の普通運賃額を基準運賃額として算出します。

◀定期券▶ 据え置きます。

○10月1日から、上野コミュニティバス「しらさぎ」が、イオンタウン伊賀上野に停車します。

【乗り入れる路線】

外回り循環西コース、内回り循環西コース

【ルート変更内容】

○現行ルート：

国道並松⇒病院下⇒市民病院⇒病院下⇒本郷口

○変更後ルート：国道並松⇒市民病院⇒イオンタウン伊賀上野⇒本郷口 ※ルートの変更部分を抜粋。

【時刻表】 9月中旬に市ホームページに掲載予定

【問い合わせ】

三重交通(株)伊賀営業所 ☎ 66-3715

◆ 農家の頼れる相談相手

新しい農業委員・協力委員

【問い合わせ】 農業委員会事務局

☎ 43-2312 FAX 43-2313

農業委員と協力委員の任期は、平成 29 年 7 月 19 日までの 3 年間で、農業生産の発展と農業経営の合理化を図り、農業従事者の生活の向上をめざすためご

尽力いただきます。

新しい委員は、次のとおりです。(敬称略)

地区名	農業委員	協力委員	地区名	農業委員	協力委員	地区名	農業委員	協力委員
小田	西出 正敏	川上 善正	神戸	松生 憲一	木下 賢一	鞆田	川合 光兼	森田 克義
久米	喜多 都夫	福田 秀次		森田 安俊				
長田	三山 一誠		市南 信之	猪田	靄崎 正宣	大森 義博	玉滝	中島 美輝
		前川 輝昭			松岡 のりみ			吉岡 康夫
花之木	米村 元一	向井 一雄	古山	浅野 潤憲	森内 典隆	丸柱	小林 行雄	—
島ヶ原	川 政治	山本 幸宏	花垣	藤森 諭	藤永 清信	山田	岡島 誠	中森 勘爾
	松永 享二			川崎 彰彦			三苫 富貴子	
新居	重倉 成則	北前 芳幸	柘植	土屋 正孝	余野 忠雄	布引	辻 克治	森下 清悟
三田	貝増 統太郎	中森 滋樹		松山 隆治			阿波	
諏訪	森岡 武司	中島 菅	西柘植	堂山 隆重	谷本 吉彦	阿保	川口 亮太郎	嶋岡 良吉
府中	米澤 俊孝	稲森 良博		山崎 英機			吉岡 輝一	
上野	柳島 正一	岡本 賢一	壬生野	中林 徹	居附 龍作	上津	稲森 敏	松本 博臣
中瀬	門脇 昌弘	葛原 常幸		西尾 剛夫			坂本 さとみ	
友生	貝増 英征	池住 和男	河合	山岡 幸子	山村 清光	種生	宮本 哲男	中井 悟雄
依那古	喜多 輝哉	大木 二郎		川瀬 甚太郎			矢持	
比自岐	川口 俊範	—		前川 武夫	小倉 吉一			

◆ 介護が必要にならないためには、運動が欠かせません

介護予防リーダー養成講座 受講生募集

【問い合わせ】 地域包括支援センター

☎ 26-1521 FAX 24-7511

要介護状態を予防するカギは運動にあるといわれています。

この介護予防リーダー養成講座では、楽しみながら運動習慣を身につけ、講座終了後、自らが主体となって地域の仲間と一緒に運動を継続できるよう介護予防や健康づくりについて学びを深めていただきたいと思います。自分自身が習得した運動方法を地域に広め、元気でいきいきした地域づくりを私たちと一緒にめざしませんか。

○基礎編

【と き】 10月9日、16日、23日、30日
いずれも木曜日 午後1時30分～3時30分

【内 容】

介護予防について・運動の理論と方法(実技あり)

○応用編

【と き】 11月6日・20日・27日、12月4日・18日・25日、平成27年1月8日、15日、22日
いずれも木曜日 午後1時30分～3時30分

【内 容】

運動の実践(ボールやチューブなどを使った運動)・運動継続のポイントなど

※基礎編・応用編の連続講座です。(原則、全回参加。)

【と ころ】 伊賀市文化会館 多目的室

講師：介護予防運動指導士 陶山 美佐さん ほか
対象者：運動に関心があり、地域での自主グループの立ち上げに意欲のある人。

【定 員】 30人 ※申し込み多数の場合は抽選

【申込期間】 9月1日(月)～19日(金)

【申込先】 地域包括支援センター

◆ 10月1日から水ぼうそう・高齢者肺炎球菌の予防接種が変わります

水痘・肺炎球菌ワクチンが定期接種へ

【問い合わせ】健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

◀水痘(水ぼうそう)ワクチン▶

- 【対象者】 1～2歳
- 【接種回数】 2回(1回目と2回目は3カ月以上あける)
- 【接種費用】 無料
- 【経過措置】

10月1日～平成27年3月31日までに限り、3～4歳で1回も接種していない人は、無料で1回接種できます。

【注意事項】

- 任意接種ですすでに水痘ワクチンの接種を受けたことのある人は、接種した回数分を受けたものとみなします。
- 水痘にかかったことのある人は対象外です。

【接種方法】

- 直接医療機関に予約をし、接種当日は母子健康手帳を持参してください。
- 予診票は伊賀市内の実施医療機関にあります。市外の医療機関で接種を希望する場合は、予診票をお渡しますのご連絡ください。
- 県外の医療機関で接種を受けた場合は、全額自己負担です。

◀高齢者肺炎球菌ワクチン▶

【接種期間】 10月1日～平成27年3月31日
※期間が限られていますので、なるべく早めに接種してください。

【対象者】

- 過去に肺炎球菌の接種を1回も受けたことのない人のうち、下記①または②の人
- ①対象年齢になる人

年齢	生年月日
65歳	昭和24年4月2日生～昭和25年4月1日生
70歳	昭和19年4月2日生～昭和20年4月1日生
75歳	昭和14年4月2日生～昭和15年4月1日生
80歳	昭和9年4月2日生～昭和10年4月1日生
85歳	昭和4年4月2日生～昭和5年4月1日生
90歳	大正13年4月2日生～大正14年4月1日生
95歳	大正8年4月2日生～大正9年4月1日生
100歳	大正3年4月2日生～大正4年4月1日生
101歳以上	大正3年4月1日以前の生まれ

※対象者には、9月下旬頃に案内はがきを郵送します。

- ②接種時点で60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスに

- よる免疫の機能障がいや身体障がい者手帳1級の人
- 対象年齢であっても、過去に肺炎球菌の予防接種費用の助成を受けている人は、定期接種の対象外となるため、案内はがきは郵送しません。
- 平成30年度まで、65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳の5歳刻みの人が対象になり、5年間で65歳以上の人全員が1回は接種することができます。

【接種回数】 1回

【接種費用】

自己負担額3,000円(生活保護を受給している人は無料)

【接種場所】 県内指定医療機関

【接種方法】

直接医療機関に予約し、接種当日は、必ず案内はがきを持参して接種してください。

【注意事項】

- 予診票は伊賀市内の実施医療機関にあります。市外の医療機関で接種を希望する場合は、予診票をお渡ししますのでご連絡ください。
- 県外の医療機関で接種を希望する場合は、接種費用が異なります。接種費用を全額窓口で支払ってください。後日、申請すれば、接種費用の一部を助成します。

助成申請をする場合は、次の①～③を持参し、担当課の窓口へお越しください。

- ①肺炎球菌予防接種を受けたとわかる領収証(受けた人の名前、接種日、接種金額が記載されたもので、領収印があるもの)
- ②印鑑
- ③通帳など、振込先がわかるもの

【任意接種に対する助成について】

- 65歳以上で、今年度の定期接種対象外の年齢の人については、現在行っている「高齢者肺炎球菌ワクチン費用助成制度」で費用助成を受けることができます。市からの助成額は3,000円です。
- ※この助成を受けた場合は、定期接種の対象年度は対象外となります。

【問い合わせ】健康推進課 ☎ 22-9653
 いがまち保健福祉センター ☎ 45-1016
 島ヶ原支所住民福祉課 ☎ 59-2163
 阿山支所住民福祉課 ☎ 43-0332
 大山田支所住民福祉課 ☎ 47-1151
 青山保健センター ☎ 52-2280

◆ 健康な体は健康な歯が支えます

後期高齢者 歯科健康診査を実施します

【問い合わせ】 保険年金課
☎ 22-9660 FAX 26-0151

口腔機能低下の予防や肺炎などの疾病予防のため75歳、80歳の人を対象にした歯科健康診査を実施します。

対象者には9月末に受診券などを送ります。受診券が届いたら歯科医療機関へ予約をしてから受診してください。

【対象者】 県内に住所があり、受診日において後期高齢者医療の被保険者である人のうち平成26年3月31日時点で75歳（昭和13年4月1日～昭和14年3月31日生まれ）と、80歳（昭和8年4月1日～昭和9年3月31日生まれ）の人。

【実施機関】 三重県内の歯科医療機関

※一部実施しない歯科医療機関がありますので、確認

の上、受診してください。

【受診方法】

受診券、健診票、質問票と被保険者証を実施機関に持参し受診してください。

【内容】 問診、口腔内健診

【実施期間】 10月1日(水)～11月30日(日)

【健診料】 無料。健診項目以外の治療を行った場合は別途費用が必要となります。

【健診結果】 健診後は結果の説明をよく聞き、治療などが必要な場合は、早めに対処しましょう。

【問い合わせ】

三重県後期高齢者医療広域連合 ☎ 059-221-6884
保険年金課

◆ いま一度、災害への心構えを新たに

防災の日と防災週間

【問い合わせ】 総合危機管理課
☎ 22-9640 FAX 24-0444

今から約90年前の大正12年9月1日は、関東大震災が起きた日です。また、9月は台風や大雨で災害が多く発生する月でもあります。

わたしたちが災害に対する認識を新たにする機会として、9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」と定められています。

地震

《自分でまもる》

○家の中を安全に：家具の転倒・落下・移動は、直接あたってけがをするだけでなく、割れた食器やガラスを踏んだり、避難通路をふさいだりするなどの危険をもたらします。

家具を固定したり、配置の工夫をするとともに、住まいの耐震性も確認しましょう。

○非常持出品、備蓄品の準備を：大きな災害が発生すると、長期に渡って外部からの支援が届かないことが予想されるので、個人で1週間程度の備えがあれば安心です。

また、赤ちゃんや高齢者などの家族の状況に応じた品物を用意することも大切です。

○家族との連絡方法を：家族や友人の安否を確認できないことが予想されます。「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」などの活用方法を知っておきましょう。

また、自宅が被災した場合に備えて、家族の集合同

所を決めておきましょう。

○身を守る：地震の際、適切な行動をとるためには、日頃から対処方法を考えておくことが必要です。場所や時間経過に伴って、求められる行動は変化します。

また、「緊急地震速報」を活用することも大切です。

1日を通じ、さまざまな場面での具体的な対処方法を、考えておきましょう。

《みんなで支える》

○顔が見える：地域の行事などに積極的に参加し、ご近所同士で声を掛け合い、顔見知りになることから始めましょう。「助けが必要なご近所さん」を、みんなで知っておくことも大切です。

○防災訓練への参加を：大きな災害が発生し、消防署などだけでは対応しきれなくなったような場合に力を発揮するのは、地域の防災組織です。

水害

台風や大雨は、襲来時期や規模をある程度予測することができます。テレビ、ラジオ、インターネットなどで、気象情報を確認し、事前に備えましょう。風雨が強まる中での次の行動は大変危険です。絶対にやめましょう。

○田畑の状況を見回る

○屋根に上がって補強する

○様子を見るため川に近づく



お知らせ 住民票・印鑑登録証明書の自動交付機の一時停止

市役所庁内機器更新作業のため、本庁舎玄関と近鉄名張駅東口に設置の証明書の自動交付機を停止します。

【停止日】

9月13日(出)～15日(月祝) 終日

【問い合わせ】 住民課

☎ 22-9645 FAX 22-9643

お知らせ 国民健康保険被保険者証をお送りします

現在お持ちの被保険者証の有効期限は、9月30日です。10月1日から使える被保険者証は9月14日以降に順次、簡易書留郵便でお届けします。

10月からは新しい被保険者証で診療を受けてください。

◆記載内容の確認をしてください

被保険者証が届いたら、住所・氏名などに誤りが無いかをご確認ください。記載内容に誤りがある場合や被保険者証が届かない場合は、保険年金課または各支所住民福祉課へご連絡ください。

◆有効期限の確認をしてください

有効期限は原則1年(平成27年9月30日まで)ですが、次の場合は期限が異なりますのでご注意ください。

①75歳になる人は、75歳になる誕生日の前日まで

②退職者医療被保険者の人は、65歳になる月の月末まで(1日生まれの人は前月末まで)

※退職者医療被保険者の被扶養者は、退職者医療被保険者の本人か、被扶養者自身が65歳になる月のいずれか早いほうの月末まで(1日生まれの人は前月末まで)

◆期限切れの被保険者証について

期限切れの被保険者証は、お手数ですが保険年金課または各支所住民福祉課の担当窓口へ返却いただくか、破棄してください。

◆臓器提供意思表示について

被保険者証の裏面には臓器提供意思表示欄があり、移植のための臓器提供意思を記入することができます。

【配達に関する問い合わせ】

日本郵便(株)上野郵便局

☎ 21-3232

※9月14日～30日の間に限る。

【問い合わせ】 保険年金課

☎ 22-9659 FAX 26-0151

お知らせ 要約筆記奉仕員の派遣

要約筆記奉仕員は、社会生活などにおけるコミュニケーションを文字にして伝えます。

※手話通訳者の派遣事業も行っています。

【派遣対象】

聴覚障がい、音声・言語機能障がいの手帳をお持ちで、社会生活を営む上で必要なことについて、意思を伝えるための仲介をする人がいない場合

※平成25年4月からの制度変更に伴い、難病患者で同等の障がいがあることが認められれば派遣対象となります。詳しくはお問い合わせください。

【派遣地域】

市内(原則)

【利用料】

無料

※病院やその他の施設で駐車料金などが必要な場合は、依頼者負担となります。

【問い合わせ】

障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662

お知らせ 老人週間の記念事業を見直します

9月15日から21日までは「老人週間」です。

市では、毎年敬老の日に自治協議会や自治会など多くの人に協力をいただきながら、先達の皆さんに感謝を申し上げる意味を込めて、長寿をお祝いする記念品を贈呈してきました。

しかし、長寿社会を迎え該当される人が約900人、市の人口の約1%に至ったことや、各自治会で独自のお祝い事業が行われている中で、市として祝い品の贈呈のみが祝意の表し方ではなくなってきたと考え、事業を見直すこととしました。

今年度からは記念品贈呈の対象者を最高齢者(男女)のみとします。米寿・白寿・百歳以上の一人ひとりに記念品はお贈りしませんが、永年にわたり社会に貢献してこられた皆さんの長寿を心からお祝い申し上げます。

【問い合わせ】

介護高齢福祉課

☎ 22-9634 FAX 26-3950

お知らせ 9月20日～26日は動物愛護週間です

～飼い始めたその日から

いつもいっしょだよ～

動物愛護週間は、動物を愛する気持ちと動物の正しい飼い方について、皆さんに関心を持ってもらうための週間です。最後まで責任を持って飼うことは飼い主の義務です。病気になるっても、年をとっても家族の一員として最後まで愛情と責任を持って飼いましょう。

また、あなたのペットが周りの人に迷惑を掛けていないか気を配り、飼い主としてのマナーを守りましょう。

不幸な犬猫を増やさないために、飼う前に命を預かる責任について考えましょう。

◆動物の習性を理解し、最後まで責任を持って飼いましょう

犬や猫は10年以上生きる動物です。最後まで責任を持って飼えるか、飼う前に家族みんなで考えましょう。

◆近隣に迷惑をかけないようにしましょう

『三重県動物の愛護及び管理に関する条例』で、犬の放し飼いは禁止されています。また、鳴き声やふん尿などで近隣に迷惑をかけないようにしましょう。

◆むやみに繁殖させないようにしましょう

捨て犬・捨て猫を増やすことのないように、繁殖を希望しない場合は、不妊・去勢手術を受けさせましょう。

◆飼い主を明らかにしましょう

迷子や盗難を防ぐため、鑑札・マイクロチップなどの標識をつけましょう。

【問い合わせ】 市民生活課

☎ 22-9638 FAX 22-9641

今月の納税

●納期限 9月30日(火)

納期内に納めましょう

国民健康保険税(3期)

※納税は便利な口座振替で

【問い合わせ】

収税課 ☎ 22-9612

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかどトピックス

コラム

図書・救急など

催し 見徳寺秘仏公開



見徳寺に、もともと客仏として安置されていた秘仏・木造薬師如来坐像（県文化財）は、飛鳥・白鳳時代に造られた三重県内最古の仏像です。通常は奈良国立博物館に保管されていますが、毎年、秋の彼岸の法要のために里帰りをします。

例年は一般公開されないこの秘仏が、今年は特別に公開されます。

【とき】

9月23日(火祝) 午後3時～5時
24日(水) 午前10時～午後5時
25日(木) 午前10時～正午

【ところ】 見徳寺（中友生1007-2）

【拝観料】 500円

【問い合わせ】 観光戦略課

☎ 22-9670 FAX 22-9695

催し 第3回あやま人権・同和問題学習講座

一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる人権社会をめざして、講座を年4回開催しています。

【とき】

10月3日(金) 午後7時30分～

【ところ】

阿山保健福祉センター ホール

【演題】

「男女共同参画社会はなぜ必要か」

【講師】 (公財) 反差別・人権研究所 所みえ 三輪 真裕美さん

【問い合わせ】 阿山公民館

☎ 43-0154 FAX 43-9019

催し 税理士相談会

【とき・ところ】

①9月13日(出)

午後1時30分～4時30分

名張産業振興センターアスパ 3階

②10月11日(出)

午後1時30分～4時30分

ハイトピア伊賀 3階

※予約優先。1人30分程度

【対象者】 市内在住・在勤の人

【申込先・問い合わせ】 東海税理士会 上野支部 ☎ 51-0932

【問い合わせ】 課税課

☎ 22-9613 FAX 22-9618

催し 第9回子育て応援！わくわくフェスタ

伊賀で入々 支えあおう

子どもの未来

みえ次世代育成応援ネットワークに参加する企業や団体などが「子どもや子育て家庭を応援する」というメッセージを込めて開催します。

子どもだけでなく大人も楽しめる魅力的な企画をご用意しています。ご家族お誘い合わせの上、ご来場ください。

【とき】 10月4日(出)・5日(日)

午前10時～午後4時

【ところ】 ゆめドームうえの

【問い合わせ】

三重県健康福祉部子ども・家庭局 少子化対策課

☎ 059-224-2269

FAX 059-224-2270

こども家庭課

☎ 22-9658 FAX 22-9646

わくわくフェスタホームページ

<http://www.jisedai.pref.mie.lg.jp/wakuwakufestop.htm>

催し 寺田市民館「じんけん」パネル展

部落差別をはじめとするあらゆる差別事件の解決をめざして、毎月「じんけん」パネル展を開催しています。

【とき】

9月1日(月)～29日(月)

午前8時30分～午後5時

※土・日曜日、祝日は除く。

【ところ】

寺田教育集会所 第1学習室

【内容】

「ありのまま、ここで生きる～障がいのある人の視点から社会を見つめ直す～」

「人が人として幸せに生きていくための権利」を持つ条件。それはただひとつ「人間であること」。障がいのある人をめぐる国内外の取り組み、自立と社会参加に向けた現状と課題など、障がいのある人の視点から社会のありかたを見つめ直します。

【問い合わせ】

寺田市民館 ☎/FAX 23-8728

～ウィークリー伊賀市～

今月は「芭蕉翁生誕370年記念事業」などをお送りします。

お知らせ 「臨時福祉給付金」・「子育て世帯臨時特例給付金」の申請はお済みですか

申請期限は9月30日(火)までですので、該当する人は早めに申請書を提出してください。対象者や申請方法については広報いが市5月15日号または市ホームページをご覧ください。

【提出先】

☎ 518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

伊賀市役所健康福祉部厚生保護課

○各支所住民福祉課

【問い合わせ】 厚生保護課

☎ 22-9664 FAX 22-9661

お知らせ 秋の全国交通安全運動実施

【運動期間】 9月21日(日)～30日(火)

【運動の基本】

○子どもと高齢者の交通事故防止

【運動の重点】

○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

○飲酒運転の根絶

◆交通事故死ゼロを目指す日

9月30日は交通事故死ゼロをめざす日です。記録の残る昭和43年以降、毎日、全国のどこかで交通事故死亡事故が発生しています。

一人ひとりが交通ルールを守りましょう。

【問い合わせ】 市民生活課

☎ 22-9702 FAX 22-9641

催し 認知症の人と家族の会「伊賀地域つどい・交流会」

【とき】 9月30日(火)

午後1時30分～4時

【ところ】 名張市武道交流館いきいき (名張市蔵持町里2928番地)

【内容】

認知症の人を介護する家族の情報交換の場

【参加費】 200円。認知症の人は無料。家族の会会員は100円。

※申し込み不要。認知症の人が参加する場合は、事前に連絡してください。

【問い合わせ】 地域包括支援センター (中部にんにんサポート伊賀)

☎ 26-1521 FAX 24-7511

募集 離乳食教室

離乳食の進み具合はいかがですか？9カ月頃は、好き嫌いが出てきたり、自分の手で食べたり、家族と同じ食卓で楽しくおいしく食事ができたりとめざましい成長がみられる時期です。

この時期からの食事、おやつと一緒に作ってみましょう。

【とき】 9月19日(金)

午後1時30分～3時30分

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階多目的室

【内容】

講話「離乳食3回食を中心に」、離乳食の調理と試食、栄養相談

※調理実習の際、先着15名まで託児があります。(電話予約制)

【定員】 20人

【持ち物】 母子健康手帳・筆記用具・エプロン・三角巾・手ふきタオル

【申込受付開始日】 9月8日(月)

※先着順・電話予約制

【申込先・問い合わせ】 健康推進課

☎ 22-9653 FAX 22-9666

募集 芭蕉さんの句碑めぐりと ハンドベル in おおやまだ

大山田地域にある松尾芭蕉の句碑を語り部と共にバスでめぐり、芭蕉翁の好んだとされるこんにやくの手づくり体験や地元食材を使った昼食、ハンドベルコンサートなどを楽しんでいただきます。

【とき】

10月11日(出) 午前9時～

【集合場所】

大山田産業振興センター前(ア二ーズ前) 河川敷駐車場

【定員】 60人 ※先着順

【参加費】 3,000円

【申込期限】 9月19日(金)

【申込先・問い合わせ】

伊賀市商工会

☎ 45-2210 FAX 45-5307

商工労働課

☎ 22-9669 FAX 22-9628

伊賀の「いいね!」がいっぱい
facebook

伊賀市 公式
フェイスブックページ

QRコード ▶



募集 芭蕉翁生誕370年記念事業 記念講演『紅花と芭蕉さん』 &対談

芭蕉さんが愛した紅花に関連するメインイベントのお知らせです。

菊池寛賞やNHK放送文化賞など各種の賞を受賞されている染織史家・染色家で、2002年東大寺大仏開眼1250年慶賀法要にあたり管長の紫衣などを制作されるなど、国内はもちろん海外でも活躍する吉岡幸雄さんを講師に迎え記念講演を行います。当日は吉岡さんが制作された作品の展示もあります。この機会に是非ご参加ください。

【とき】 9月28日(日)

【内容】

◆第1部 記念講演

午後1時30分～2時20分

講師：染色家 吉岡 幸雄さん

テーマ：「紅花と芭蕉さん」

◆第2部

午後2時30分～3時30分

テーマ：「伊賀のこと京都のこと」

吉岡幸雄さんと岡本栄市長による対談

【ところ】

ハイトピア伊賀 5階大研修室

【定員】 先着150人

【申込方法】 往復はがきに参加希望人数・代表者氏名・代表者電話番号を明記の上、持参または郵送で申し込んでください。往復はがき1枚につき2名まで応募できます。

【申込受付期間】

9月8日(月)消印～19日(金)到着分

【申込先・問い合わせ】 〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

芭蕉翁生誕370年記念事業実行委員会事務局(文化交流課内)

☎ 22-9621 FAX 22-9628

募集 いがまち家庭教育講演会

【とき】 9月17日(水)

午後7時30分～8時30分

【ところ】 いがまち公民館 ホール

【内容】

演題：「大人の先行く子どもたち～大人が知っておくべきスマホ・SNSのリスク～」

講師：消費生活専門相談員

高橋 順子さん

※申し込み不要

【問い合わせ】 いがまち公民館

☎ 45-9122 FAX 45-9160

募集 伊賀の和菓子教室(後期)

伊賀の創作和菓子をみんなで一緒に作って、あま～いひとときを過ごしませんか。

【とき】 11月6日(休)・12月4日(休)・2月5日(休)の計3回

午後1時30分～3時30分頃

【ところ】 ハイトピア伊賀

4階調理実習室

【対象者】 20歳以上の人

【定員】 20人

【受講料】 各回1,000円

【講師】 桔梗屋織居 中村 伊英さん

【申込方法】 電話または直接ご来館いただき、参加者の住所・氏名・電話番号・年齢・人数を知らせてください。

【申込期間】 9月17日(休)～26日(金)

午前9時～午後5時

※初めての人を優先しますが、過去に受講された人も申し込んでいただけます。申し込み多数の場合は、抽選を行い、結果を郵送します。

【申込先・問い合わせ】 上野公民館

☎ 22-9637 FAX 22-9692

※土・日曜日、祝日のみ ☎ 22-9801

募集 秋の文化財再発見ツアー

市内には、数多くの貴重な文化財があります。今回はその中でも建造物に焦点をあて、4カ所の文化財施設を巡るツアーを開催します。中には普段見ることができない文化財もありますので、この機会にお申し込みください。

【とき】 10月4日(出)

午後1時～5時

【見学場所】 西町集議所・廣禅寺輪蔵・町井家住宅・栄楽館

【集合場所】 ハイトピア伊賀 5階

【移動手段】 徒歩とマイクロバス

【対象者】 20歳以上の人

【定員】 20人

【案内】 伊賀市文化財保護審議会委員 滝井 利彰さん

【申込方法】

電話または直接ご来館いただき、参加者の住所・氏名・電話番号・年齢・人数を知らせてください。

【申込期間】 9月5日(金)～16日(火)

午前9時～午後5時

※申し込み多数の場合は、抽選を行い、結果を郵送します。

【申込先・問い合わせ】 上野公民館

☎ 22-9637 FAX 22-9692

※土・日曜日、祝日のみ ☎ 22-9801

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかどトピックス

コラム

図書・救急など

募集 高齢者の雇用・就業を支援する技能講習会

55歳以上で仕事を探している人を対象に、次の2コースの技能講習会を開きます。

◆調理スタッフ講習会

【とき】

10月6日(月)から30日(木)のうちの7日間

【ところ】(公社)伊賀市シルバー人材センターほか

【定員】20人

【申込期限】9月5日(金)

◆フォークリフト講習会

【とき】

10月11日(土)から11月4日(火)のうちの5日間

【ところ】(公社)伊賀市シルバー人材センターほか

【定員】10人

【申込期限】9月12日(金)

【申込先・問い合わせ】

(公社)伊賀市シルバー人材センター
☎ 24-5800 FAX 23-2040

【問い合わせ】

商工労働課
☎ 22-9669 FAX 22-9628

募集 防衛大学生募集

防衛大学(一般前期)・防衛医科大学医学科・防衛医科大学看護学科の学生を募集します。

【応募資格】

日本国籍の18歳以上21歳未満で、高等学校・中等教育学校卒業または高等専門学校3年修了者など(見込みを含む)。

【試験日】

○防衛大学:11月8日(土)・9日(日)

○防衛医科大学医学科:

11月1日(土)・2日(日)

○防衛医科大学看護学科:

10月18日(土)

【試験会場】

陸上自衛隊久居駐屯地(津市久居新町975)

【受付期間】

9月5日(金)~30日(火)

詳しくは、お問い合わせいただくか、「三重自衛隊」で検索してください。

【問い合わせ】

自衛隊三重地方協力本部伊賀地域事務所
☎ 21-6720

募集 危険物取扱者試験・予備講習会

◆危険物取扱者試験(後期)

【とき】11月22日(土)

○乙種4類:午前10時~正午・午後1時30分~3時30分

○丙種:午前10時~11時15分

【ところ】伊賀市勤労者福祉会館(上野丸之内182-3)

【申込方法】

①消防本部・各消防署・各分署にある願書に必要事項を記入の上、郵送してください。

※詳しくは願書をご覧ください。

②(一財)消防試験研究センターのホームページからお申し込みください。

【申込受付期間】

①願書:9月18日(木)~29日(月)

②ホームページ:

9月15日(月祝)午前9時~26日(金)午後5時

【問い合わせ】(一財)消防試験研究センター三重県支部
☎ 059-226-8930

◆危険物取扱者試験予備講習会(乙種4類対象)

【とき】10月31日(金)

午前9時~午後5時

【ところ】

中消防署西分署 2階会議室

【定員】80人

【受付期間】10月1日(水)~10日(金)

【申込先・問い合わせ】

消防本部予防課
☎ 24-9103 FAX 24-9111

募集 伊賀地域創業スクール2014

【とき】9月27日・10月4日・11日・18日・25日の5日間

いずれも土曜日

午前9時30分~午後4時30分

【ところ】ゆめテクノ伊賀(産学官連携地域産業創造センター)

【内容】創業を成功させるポイントなど開業基礎知識の習得とビジネスプランの作成

【定員】30人 ※先着順

【受講料】

10,800円(全国统一料金)

【申込期限】9月16日(火)

【申込先・問い合わせ】

伊賀市商工会
☎ 45-2210 FAX 45-5307

【問い合わせ】商工労働課
☎ 22-9669 FAX 22-9628

「広報いが市」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

【問い合わせ】障がい福祉課

☎ 22-9657 FAX 22-9662

募集 障がい者福祉計画(中間案)ご意見募集

「だれもが自分らしく暮らせるまちをつくる」を基本理念として、市における障がい者のための施策に係る基本方針を定めた第3次伊賀市障がい者福祉計画を策定しています。

今回、この中間案に関してご意見(パブリックコメント)を募集します。

【募集内容】

第3次伊賀市障がい者福祉計画(中間案)に対するご意見

【閲覧方法】

次の①~④にある資料または市ホームページ

①障がい福祉課

②各支所住民福祉課

③各地区市民センター

④各隣保館

点字版・音訳版が障がい福祉課と各支所住民福祉課にありますので、必要な場合はお問い合わせください。

【提出方法】

住所・氏名・電話番号・件名を記入し、ご意見(「該当箇所」とそれに対する「意見内容」)を記載のうえ、郵送・ファックス・Eメール・持参のいずれかで提出してください。

※提出いただいたご意見は、計画策定の参考資料とさせていただきます、市の考え方などとあわせて、障がい福祉課・各支所住民福祉課・市ホームページで公表します。

※個別の回答は行いません。

※いただいた意見書などは返却しません。

【募集期間】

9月4日(水)~10月3日(金) ※必着

【提出先・問い合わせ】

〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

伊賀市健康福祉部障がい福祉課

☎ 22-9657

FAX 22-9662

✉ shougai@city.iga.lg.jp

※持参の場合は、各支所住民福祉課でも受け付けます。



おいしそうに、できたよ！

夏休み子ども公民館教室スイーツデコ教室(8月2日)

講師からコツを教してもらい、真剣にフェイクスイーツを作る子どもたち



大山田公民館でフェイクスイーツ作家の北出福子さんを講師に招き、スイーツデコ教室を行いました。今回は樹脂粘土などを使ってパフェグラスに入った本物そっくりのムース作りを体験しました。

参加者は、まず、ムースに飾り付ける樹脂粘土でできたフルーツの色付けや成形などをしました。そして、ムースの土台づくりをしたり、本物のホイップクリームのように絞ったりと、形が崩れないよう慎重に挑戦していました。



地域を盛り上げる元気なまつり

2014しまがはら夏まつり (8月2日)

島ヶ原温泉やぶっちゃで、「盛り上げよう“ふるさと”」をテーマに開催されました。

ステージではコーラスやハーモニカ、和太鼓などのグループが登場し、会場には地元の団体によるフランクフルトやから揚げなどの出店が並びました。

日が暮れる頃、島ヶ原盆踊り保存会が「みんなで踊ろう盆踊り」と題して盆踊りをし、飛び入りで踊りの輪に加わる人もいて、会場は一体となって江州音頭を楽しみました。まつりの最後には花火の打ち上げがあり、さまざまな色や形の花火が夏の夜空を彩りました。



◀島ヶ原音頭保存会の皆さんと、島ヶ原保育所の園児や保護者らが島ヶ原小唄を踊り、夏まつりが始まりました。

▼島ヶ原中学校の生徒の有志 21 人が、勇壮な南中ソーランを披露しました。



国民健康保険 集団特定健康診査

《とき・ところ》

- 11月2日(日) 青山公民館
- 11月8日(土) 阿山保健福祉センター
- 11月15日(日) いがまち保健福祉センター
- 3月14日(日) ゆめぼりすセンター
- いずれも午前9時～11時30分

※阿山での実施(8日)は午前中のみに変更します。

《対象者》 国民健康保険被保険者

《自己負担金》 1,000円

《内容》 身体測定・尿検査・血圧測定・血液検査・心電図・診察など

※食事により血液データが変わることがありますので、

※集団がん検診と同時受診できます

(集団がん検診については、10ページをご覧ください。)

できるだけ空腹でお越しください。

《持ち物》

受診券・国民健康保険被保険者証・自己負担金

※いずれも事前申し込みが必要です。

※国民健康保険特定健診受診券を紛失した人には再発行します。

※平成26年7月以降に医療機関で伊賀市国民健康保険特定健診をすでに受診した人と、簡易人間ドックを受診した人は、受診できませんので注意してください。

《予約先・問い合わせ》

保険年金課 ☎ 22-9659 FAX 26-0151



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかどトピックス

コラム

図書・救急など

不思議がいっぱい

第10回こども大学 (8月8日)



▲特殊なシートを使って、光の仕組みを観察しました。

▼レモンなどの果汁を使って和紙に絵や字を書いて乾かしたあと、アイロンをあてると絵や文字が浮かび上がってきました。



ゆめテクノ伊賀で第10回「こども大学」が開催されました。この日は「光のサイエンス 光の3原色をさぐれ!」と「紙に書かれた忍者文字を解読せよ」の2つの講義と伊賀白鳳高校がソーラーカーの展示などを行いました。

参加した60人の子どもたちは、特殊なシートを使った実験で光の色の仕組みを学んだり、熱を加えてあぶることで見えなかった文字や絵を見えるようにする「あぶりだし」など、さまざまな不思議を体験しました。

◀知事と市長は、終始和やかな空気で、さまざまな課題について討議しました。



知事とともに市の未来を語る

知事と伊賀市長の1対1対談 (8月11日)

ハイトピア伊賀5階の多目的大研修室で、鈴木英敬三重県知事と岡本栄伊賀市長が伊賀市のこれからのについて対談をしました。この対談は毎年1回行っているもので、今回は「潜在力(ポテンシャル)を活かしたまちづくり」「安心して暮らせるまちづくり」の2つのテーマにそって話し合いました。

市長が伊賀市の医療体制について知事にどのように考えているかを問うと、知事は「課題である救急医療体制を充実させるため、三重県地域医療ビジョンの策定が必要」と答えました。また、医師の確保に積極的に取り組むほか、2030年には必要な人数の医師が確保できる見通しであること、看護師の確保に尽力することなどを話しました。

▶岡本市長が、芭蕉翁生誕370年記念事業とともに「投句箱」を街中に設置していると話すと、鈴木知事が県の施設にも設置することを申し出ました。



有料広告を募集します

広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は、市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【発行部数】約36,000部

【掲載料】1枠…2万円

(縦5cm×横9cm)

【申込期限】発行日2カ月前

【問い合わせ】広聴情報課

☎22・60060



大企業の余剰パソコンを、一般家庭に有効活用頂くエコ推進活動です。初心者の方・サポート終了のXPをお使いの方に

すぐ使える ウィンドウズ7 ノートパソコンお譲りします

富士通・東芝・NEC12～15型 ワープロ・表計算・プレゼンソフト2013年版付 DVD-CD視聴可 機器は無償でお譲りします。お譲りご希望の方はパソコンを動かすウィンドウズ7正規認証、ソフトインストール下記諸費用をご負担下さい。

一台あたり諸費用 **23,000円** (税込) 修理保証付もあり

お問い合わせは会場担当 田中まで **080(3677)5329**

今回お譲りの台数 30台
日時 **9月27日(土)** 午前10時～お昼12時
会場 **上野商工会議所 会議室** 伊賀市上野丸之内500
上記会場で機器をご確認のお持ち帰り頂けます



Microsoft REGISTERED Refurbisher

マイクロソフト社認定 MRR 主催 株式会社フォーインク 名古屋市中区東栄2-3-7 東カンビル1F TEL 052(380)9211 <http://forincs.com> 非営利団体(NPO)・学校教育団体の方の機器入れ替えは別ライセンスでの専用機種をご用意しますのでご相談下さい。

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。

カラダのこと
おしえて!

ほうっておくと危険な症状 もしかして、鼠径ヘルニア?

◆手術以外に治療方法がない鼠径ヘルニア

鼠径ヘルニアとは、鼠径部（足のつけ根）から腸などがとび出す症状のことで、自然に治ることはなく、手術以外に治療方法がありません。

鼠径ヘルニアの初期症状は、立ったときやお腹に力を入れたときに鼠径部の皮膚の下に柔らかい腫れができます。普通は指で押さえると引っ込みますが、次第に不快感や痛みを伴ってきます。腫れが急に硬くなったり、押さえても引っ込まなくなることがあり、お腹が痛くなったり吐いたりします。これをヘルニアの嵌頓かんとんといい、急いで手術をしなければ、悪化したり、場合によっては命にかかわります。今まで嵌頓したことがなくても、突然起こる可能性は十分にあります。

また、手術せずに経過を見ていて、痛みが増して数年後に手術をするという方もみえますが、年を重ねて高齢になってくると麻酔や手術自体に危険が



伴います。症状のある方はその時点で手術を強く薦めています。

◆痛みも少なく短期入院で済む新しい手術方法が普及しています

鼠径ヘルニアの手術にはさまざまな手術方法がありますが、当院では腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を基本に手術を行っています。全身麻酔が必要となりますが再発率も低く、手術後の痛みも従来に比べて少なく傷口もめだちにくい手術方法です。入院期間も3～4日間と短くて済みます。しかしお腹の手術の既往がある方は腹腔鏡で手術ができない場合がありますので一度ご相談ください。

鼠径ヘルニアはまれな病気ではありません。もしも鼠径ヘルニアを疑う症状がある場合はためらわずに診察を受けてください。

(上野総合市民病院 外科部長 濱口 哲也)



【問い合わせ】 上野総合市民病院 ☎ 24-1111

コラム 自治基本条例

伊賀市には「市民によるまちづくりのための条例」があります

第6回 伊賀市自治基本条例～総則編～

今回は、第1章総則（第1条～5条）について説明します。総則とは、条例全体に共通するきまりについて示した部分のことです。

第1条 「目的」

この条例の目的を、伊賀市独自の自治の推進と確立をめぐることであるとしています。

第2条 「用語の定義」

市民、市、市議会、協働、自治の定義を定めています。特に「市民」については、まちづくりに参画する主体として、一般的な使い方よりも少し広く「市内に在住、在勤又は在学する個人及び市内で活動する法人その他の団体をいう」としています。

第3条 「基本理念」

合併協議の中で議論し、新市建設計画に定めた3つのまちづくりの基本理念*を、伊賀市の基本理念として改めて規定しています。

*基本理念：①「市民」が主体となり地域の個性が生きた自治の形成②持続可能な共生地域の形成③交流と連携による創造的な地域の形成

第4条 「自治の基本原則」

伊賀市独自の自治に必要な不可欠な6つの原則、①情報共有の原則②市民参加の原則③計画化の原則④補完性の原則⑤協働の原則⑥評価の原則について規定しています。なお、「伊賀市市民憲章」はこの第4条を基にしています。

第5条 「この条例の位置付け・体系化」

この条例を伊賀市における最高規範と位置づけ、市の全ての条例、規則は自治基本条例と整合を図らなければならないとしています。

今回は、協働のまちづくりにおいて重要な第2章「情報の共有」について、説明します。

【問い合わせ】 総合政策課 ☎ 22-9620 FAX 22-9672

伊賀警察署だより



警察の相談ダイヤル #9110

9月11日は「警察安全相談の日」です。

警察では、相談ダイヤル「#9110」を設け、犯罪による被害防止や市民の安全と平穏のための各種相談に応じています。

各種相談は、「#9110」の警察本部専用窓口で受け付けます。

警察署でも同様の相談を受けており、専門の係員が皆さんの立場に立って対応します。

なお、「#9110」は、携帯電話・PHSからも利用可能ですが、ダイヤル回線の電話や一部のIP電話からは利用できませんので、相談窓口の直通電話番号(☎059-224-9110)にご相談ください。

各種事件・事故の場合は「110番」、それ以外の各種相談については相談ダイヤル「#9110」のご利用をお願いします。

【問い合わせ】 伊賀警察署 ☎ 21-0110
名張警察署 ☎ 62-0110



公共交通を利用しましょう

公共交通機関 利用促進運動実施中!

～7・8・9月～

『団体利用補助』をご活用ください。

市では、伊賀鉄道の利用促進のために、市内の園児、児童、生徒が遠足や社会見学などの行事で伊賀鉄道を団体利用することに対して年間を通じて補助金を交付しています。住民自治協議会などの自治組織が主催する子ども会などの行事でも利用することができます。



また、JR関西本線についても、JR関西本線電化を進める会（事務局：総合政策課）が交付する利用促進のための団体利用補助をご利用いただけます。

学校や地域で遠足などの行事を計画する場合には、ぜひご活用ください。



【問い合わせ】

総合政策課
☎ 22-9663 FAX 22-9672

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

Jリーグ差別横断幕の問題を考える ー管財課ー

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

今年はワールドカップが開催されサッカーの話題で盛り上がりましたが、今年3月にサッカーJリーグで起こった差別横断幕の問題について考えてみたいと思います。

事の発端は、Jリーグの試合で一部の観客が「日本人以外お断り」と読める「JAPANESE ONLY」と書かれた横断幕を掲示したことです。日本プロサッカーリーグは、記載内容が差別的であり、その横断幕を試合終了後まで撤去できなかったことを理由に、該当チームに次回の試合の入場収入が一切なくなる無観客試合の開催を指示しました。これはJリーグ始めて以来最も重い処分だといわれています。

掲示の内容が人種差別と判断されても仕方のないものであり、その行為自体が問題であることに加え、試合当日この横断幕を見た人が大勢いた中で、この差別事象に気付けない人がいたこと、ま

た気付いていた人が大勢いたとしても、実際には、横断幕が撤去されず、試合終了後まで放置されていたことが、もっと大きな問題ではないかと思えます。

今回の出来事は、スポーツ観戦という何気ない日常生活の中で起こっており、私たちもいつこのような場面に遭遇するかわかりません。一人ひとりが人権問題に関心であってはいけないということを改めて考えさせられる出来事でした。

横断幕を掲げた観客は、差別の意図はなかったと主張しているようですが、これについて日本プロサッカーリーグは、「掲げた側の考えではなく、受け手がどう感じるかに目を向けるべきだ。」と述べています。

私たちの日常生活において、何気ない行動や発言で相手を傷つけてしまうかもしれません。「受け手がどう感じるか」という視点を普段から意識することが大切ではないでしょうか。

■ご意見などは人権政策・男女共同参画課 ☎ 47-1286 FAX 47-1288 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

図書館 だより

《問い合わせ》

上野図書館 ☎ 21-6868 FAX 21-8999
 いがまち図書室（いがまち公民館内）☎ 45-9122
 島ヶ原図書室（島ヶ原会館内）☎ 59-2291
 阿山図書室（あやま文化センター内）☎ 43-0154
 大山田図書室（大山田公民館内）☎ 47-1175
 青山図書室（青山公民館内）☎ 52-1110

今月の新着図書



絵本

『にんじゃサンタのなつまつり』

丸山 誠司／作

にんじゃサンタたちが、夏祭りに現れました。大はしゃぎのにんじゃサンタたちは、お祭りをこっそり楽しんでいたつもりでしたが…!? シリーズ2冊目です。

■一般書

『図鑑大好き!』千葉県立中央博物館／監修
 『子どもと楽しむ俳句教室』

金子 兜太／監修

■児童書

『13歳からの料理のきほん 34』

アントラム栢木 利美／著

『お父さんが教える図書館の使いかた』

赤木 かん子／著

『学校の鏡は秘密のとびら?』

三野 誠子／作

■絵本

『くらいところからやってくる』

前川 知大／作・小林 系／絵

『ぼくのかぼちゃ』 かもがわ しの／作

図書室では図書館情報システムが一時停止します

市役所庁内機器更新作業のため、いがまち・阿山・大山田・青山図書室の窓口では、予約・延長・検索など利用できなくなる業務があります。

【期間】 9月13日(土)～15日(月祝)

※本の貸し出しは利用できます。

図書館（室）からのお知らせ

～ いがまち図書室休館のお知らせ ～

特別図書整理のため休館します。休館中の図書の返却は、いがまち公民館前のブックポストをご利用ください。

【休館期間】 9月27日(土)～30日(火)

9月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

とき	ところ	催物（読み手）
8日(月)	14:30～ 島ヶ原老人福祉センター	読み聞かせ会（ネエよんで）
10日(水)	10:30～ いがまち図書室	ミニサロンひまわり
13日(土)	10:30～ 上野図書館	おはなしの会
17日(水)	10:30～ 阿山図書室	読み聞かせ会（はあと&はあと）
	15:00～ 上野図書館	えほんの森（よもよも）
20日(土)	10:00～ いがまち図書室	読み聞かせ会（ぶらんこ）
	10:30～ 大山田図書室	おはなしたいむ（きらきら）
21日(日)	10:30～ 上野図書館	小学生のための秋のおはなし会
	10:30～ 阿山図書室	読み聞かせ会（はあと&はあと）
24日(水)	10:00～ 島ヶ原子育て支援センター	読み聞かせ会（ネエよんで）
	10:30～ 上野図書館	おひさでだっこのおはなし会
27日(土)	10:30～ 上野図書館	おはなしの会
30日(火)	11:00～ 青山図書室	おはなしなあに？
10月1日(水)	10:00～ いがまち図書室	絵本の時間（お話の国アリス）

図書館（室）めぐり その4

大山田図書室



大山田公民館の中に、上野図書館分館・大山田図書室があります。

季節の特集コーナーや、ヤングアダルト向けのコーナーなどを設け、居心地の良い空間づくりを大切にしています。「えほんのへや」では、親子でゆっくり絵本を眺めることができます。

市内図書館（室）の本の取り寄せや返却、また、県立図書館資料の受け取りもできます。新刊も毎月入荷していますので、ぜひご利用ください。

～大山田図書室～ 平田 3154（大山田公民館内）

【開館日】 火～日曜日 午前10時～午後5時

【休館日】

毎週月曜日・祝日・
年末年始・図書整理日



9月の二次救急実施病院

◎各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
	1 岡波	2 上野	3 岡波・名張	4 名張	5 上野	6 名張
7 名張	8 岡波	9 名張	10 岡波・名張	11 名張	12 上野	13 上野
14 岡波	15 岡波	16 上野	17 岡波・名張	18 名張	19 上野	20 名張
21 名張	22 岡波	23 名張	24 岡波・名張	25 名張	26 上野	27 上野
28 岡波	29 岡波	30 上野	*小児科以外の診療科です。			

《実施時間帯》 平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分

《実施時間帯（岡波総合病院）》

月曜日：午後5時～翌日午前9時 水曜日：午後5時～翌日午前8時45分
日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

救急車での搬送限定ではありませんが、必ず事前に連絡が必要です。

【上野総合市民病院（☎24-1111）】

【名張市立病院（☎61-1100）】

【岡波総合病院（☎21-3135）】

※重症者が重なり、診察できない場合があります。また、非当番日は救急の受け入れを行いません。
※二次救急（重症）の人が対象です。

◎伊賀市救急相談ダイヤル24

☎0120-4199-22

（フリーダイヤル）

医師・看護師などが24時間年中無休体制で、救急医療や応急処置などに関する相談に応じます。（通話料・相談料：無料）

◎伊賀市応急診療所（一次救急）【診療科目】 一般診療・小児科

【所在地】 上野桑町1615番地 ☎22-9990

【診療時間】 月～土曜日：午後8時～11時

日曜日・祝日：午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時
※受付は、診療終了時刻の30分前までをお願いします。

◆夜間・日曜日および祝日診療を行っている医療機関については、三重県救急医療情報センター（☎24-1199）へお問い合わせください。

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・がめやま

甲賀市

亀山市

秋の甲賀で華やかに舞い踊る

～第16回ござれGO-SHU!～



近江の盆踊りの定番・「江州音頭」をアレンジしたアップテンポの曲に乗り、鳴子を手に持ち舞い踊る「よさこい方式」のお祭り「ござれGO-SHU!」。彩鮮やかな衣装をまとった踊り子が、圧巻のパフォーマンスを繰り広げます。

全国で活躍する有名チームが参加予定。熱い演舞で甲賀の秋を盛り上げます。

【とき】 9月27日(出) 午前10時～午後7時(予定)

【ところ】 水口スポーツの森のほか市内会場
(甲賀市水口町北内貴 230 番地)

【アクセス】

JR 貴生川駅からコミュニティバス約5分

【問い合わせ】 ござれGO-SHU! 組織委員会事務局

☎0748-65-5323 FAX 0748-65-5322

<http://gozare.gr.jp/>

【問い合わせ】 甲賀市広報課 ☎0748-65-0675

広大な茶畑で、すがすがしいひとときを

～亀山青空お茶まつり～

亀山市の特産品「亀山茶」。約88haの茶生産団地「中の山パイロット」で、生産者と消費者との交流を目的に「亀山青空お茶まつり」が開催されます。お茶にちなんだ楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひお越しください。

【とき】 9月21日(日) 午前10時～午後2時

【ところ】 中の山パイロット特設会場（太森町）

【内容】 茶摘み体験・手もみ実演・電子レンジでお茶づくり・紙風船飛ばし・紙すき体験・農産物販売など

【アクセス】 東名阪自動車道「亀山IC」から約10分（亀山IC→国道1号→県道302号）

【問い合わせ】 亀山青空お茶まつり実行委員会事務局

亀山茶農業協同組合内

☎0595-82-1328

環境産業部農政室

☎0595-84-5082



【問い合わせ】 亀山市広報秘書室 ☎0595-84-5021

市長の伊賀じまん

—伊賀の貴重な植物—



▶市指定文化財(天然記念物)のギフチョウの食草として知られるヒメカンアオイ。



伊賀市内には、昔ながらの山林が、原生林に近い状態に残っています。奥地に行かなくても珍しい植物を見つけることができます。

◆ヒメカンアオイ

上野公園に自生するヒメカンアオイは、旧制上野中学の生物教師である黒川喬雄さんが初めて発見し、植物標本の基準産地となっている貴重な植物です。カンアオイの仲間は、日照量が少なく湿気の多い土地に生育します。実をアリが運ぶため、分布を拡大する速度が遅く、地域によってさまざまな種類に進化しています。

先日、上野公園の石垣の清掃と併せて行った植生調査では、ヒメカンアオイ 30 株が確認されました。



◆イガザサ・フウラン

上野公園には、そのほかにも黒川さんによって

◀上野公園に自生するイガザサ(ルベシベザサの別名)。

発見されたイガザサなどの貴重な植物が自生しています。

鎮守の森といえば神社を囲むように存在する森林のことですが、こういった場所はさまざまな植物が自生し、古くからのありさまを伝えていきます。高倉神社ではアヤマスズというササの一種が自生しており、これは県の天然記念物に指定されています。

また、“上野のお天神さん”にたたずむ大木には、フウランがびっしりと生えています。フウランはラン科の植物でほかの木の上に根を張って生活しています。散歩で立ち寄ったときは、1株2株落ちてこないものかと見上げながら歩いたりもします。

このように、伊賀市内を見渡すとまちの中にたくさんの自然が残っていることがわかります。新種の植物は、毎日約 50 種発見されていると聞いたことがあります。皆さんも身近にある山林をよく見てみてください。意外な発見があるかもしれません。

(伊賀市長 岡本 栄)

伊賀の水力発電

市史編さんだより (34)

青山高原の山々に見える風力発電の風車に代表されるように、近年では自然エネルギーが見直され、さまざまな取り組みが行われています。明治・大正の伊賀でも、地域に電気の灯りを点けるため、水力発電所が建設されました。

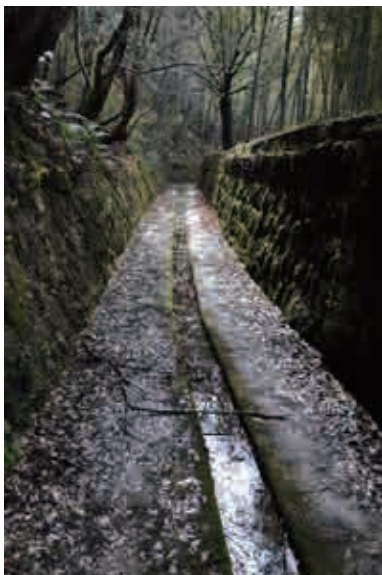
近代伊賀地域を代表する事業家田中善助は、明治27年(1894)頃から伊賀に水力発電所を建設するため、いくつかの計画を進めてきました。さまざまな事情により、実現することができませんでしたが、

構想から約10年、ようやく実現したのが、明治37年に完成した巖倉水力発電所でした。現在の岩倉峡キャンプ場付近から木津川に沿って1kmほど水路を掘り、河川敷に設置した施設で発電するというものでした。

当初は、わずかに出力50kwの発電所でしたが、これにより、上野町・小田村・新居村で電気が灯ることになりました。

その後、田中は、大正7年(1918)に小田町に75kwの火力発電所、大正11年

▼巖倉水力発電所の導水路跡



に名張市の比奈知に800kwの水力発電所を建設し、伊賀の電力供給能力を向上させました。

田中の水力発電の成功を機に各地で発電所の計画が立てられました。計画倒れになることが多い中、成功したのが、大正8年馬岡次郎により奥馬野の馬野川に建設された50kwの馬野川水力発電所です。これにより、布引・阿波・山田の各村に電力を供給することができるようになりました。

水力発電は、人々に電気の灯りをもたらすだけでなく、その後の鉄道の電化や各種工場における電力の導入など、生活の向上や産業の発展に大きく貢献しました。

総務課市史編さん係
☎52・4380 FAX52・4381